

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	浄化槽設置補助事業	コード	担当課係
		01-01-10-03	下水道課業務係
事業実施期間	平成元年～		担当者
			瀬尾茂樹
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目	生活しやすいまちづくり	
	小項目	下水道	
	施策	公共下水道計画区域外への対策	

事業について	
目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。
対象 (誰のために)	公共下水道の事業計画の認可を受けた区域及び農業集落排水施設設置事業並びに漁業集落排水施設設置事業の採択された区域以外の地域で、専用住宅に処理対象人員10人以下の浄化槽を設置する人。
内容	浄化槽の設置費用の一部を補助金として交付する。

事業の結果							
実施項目		17年度					
		回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)
補助基数		47	基				
汚水処理人口(単年度)		127	人				
事業費		事業費		財源		事業費	
		18,621	円	11,904	円		
		1,925	円	0	円		
		20,546	円	8,642	円	0	円
必要人員		0.25	人				
結果指標①	結果指標名	補助基数					
	結果指標量	47					
	単位	基					
	対前年比	0.00%					
結果指標②	結果指標名	汚水処理人口(単年度)					
	結果指標量	127					
	単位	人					
	対前年比	0.00%					

事業の成果			
成果指標名	浄化槽人口普及率	式又は説明	浄化槽利用人口/行政区内人口×100
成果指標量	7.2		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	10%	到達目標年度	平成30年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		
コメント	下水道事業の投資効率が低下しているなかで、浄化槽による整備は経済性にすぐれ、その役割は重要である。汚水処理全体計画の見直しも含め、補助金額の見直しや、市が浄化槽を設置管理する事業等も検討する必要がある。	評価区分 <A~E> C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	52
結果指標量②	140
目標値	7.5

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	適正な浄化槽工事、維持管理の徹底	H18	適正な処理水による生活環境の改善、公共用水域の水質保全

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。